

[illegible]

齒科診療料金

種別	初診	治療
料 金	一〇〇 五〇 以 上	三〇 三〇 以 上
府 縣	六六 五六 三	八五 四五 四
料 金	一〇〇 五〇 ナ シ	三〇 二〇 一〇 三〇
府 縣	二二 二二 一	三 一 一
料 金	三〇 五〇 一〇 五〇 五〇	四〇 四〇 以 上
府 縣	一 一 一	一 一 一

額 繼 冠 齒 陶	鈎	金	齒 拔	
五〇〇—一五〇〇 三〇〇—三〇〇〇 三〇〇—二〇〇〇 三〇〇—五〇〇〇 五〇〇—二〇〇〇 八〇〇—四〇〇〇 二〇〇—一五〇〇	一五〇—一〇〇〇 一五〇—三〇〇〇 三〇〇—一五〇〇〇 三〇〇—一〇〇〇 二五〇 以 上 二〇〇—三〇〇〇 一五〇—一五〇〇 二〇〇—五〇〇〇	五〇〇—一〇〇〇 五〇〇—五〇〇〇 一五〇—一五〇〇 二〇〇—三〇〇〇 二五〇 以 上 二〇〇—三〇〇〇 一五〇—一五〇〇 二〇〇—五〇〇〇	一〇〇—一〇〇〇 五〇〇—五〇〇〇 一〇〇—三〇〇〇 五〇〇—八〇〇〇	三〇—五〇
一 二 二 二 二 三 五	一 一 二 二 二 二 二 四	一 一 二 二 二 二 二 四	一 二 三 四	四
三〇〇—一〇〇〇 三〇〇—一〇〇〇以上 三〇〇—一五〇〇 四〇〇—八〇〇以上 四〇〇—二〇〇〇以上 四〇〇—一五〇〇 六〇〇—一〇〇〇	三〇〇—七〇〇 三〇〇—五〇〇 二五〇—三〇〇〇 二五〇—五〇〇 二五〇—三五〇以上 二〇〇—三〇〇〇 二〇〇—三〇〇〇以上 二〇〇—三〇〇	三〇〇—一〇〇〇 三〇〇—五〇〇 二五〇—三〇〇〇 二五〇—五〇〇 二五〇—三五〇以上 二〇〇—三〇〇〇 二〇〇—三〇〇〇以上 二〇〇—三〇〇	五〇〇—一〇〇〇 七〇〇—一〇〇〇 八〇〇—五〇〇 八〇〇—一〇〇〇	二〇 以 上
一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一 一 一 一	一 一 一 一	一
六〇〇—二五〇〇 八〇〇—二〇〇〇以上 一〇〇〇—二〇〇〇 一〇〇〇—二〇〇〇以上 一〇〇〇—二五〇〇 ナ シ	五〇〇 四〇〇 四〇〇—一五〇〇 三五〇—二五〇〇 三〇〇 以 上 三〇〇—二〇〇〇 三〇〇—一〇〇〇	五〇〇 四〇〇 四〇〇—一五〇〇 三五〇—二五〇〇 三〇〇 以 上 三〇〇—二〇〇〇 三〇〇—一〇〇〇	一〇〇 以 上 一〇〇—八〇〇 一〇〇—一五〇〇 三〇〇—三〇〇〇	一

種別	藥服頓	藥嗽含	藥法器	箋方處	料帶糊	炎内口
料 金	一〇 一五 三〇	三〇 三〇 三〇 以 五〇 上	三〇 三〇 三〇 以 五〇 上	一〇〇 五〇 五〇 五〇 以 上	五〇 五〇 五〇 以 上	ナ 五〇 五〇 シ
府 縣	二二	三五〇	二三五二	三四七八	二二八	三六
料 金	一五 一五 二五	一五 二〇 二五 三〇 五〇	三〇 二〇 二〇 二五 五〇 三〇 一〇	一〇〇 二〇 二〇 二〇 五〇 二〇 一〇 以 上	五〇 五〇 五〇 一〇〇 二〇 二〇 一〇 三〇	一〇〇 一〇〇 一〇〇 五〇〇
府 縣	一一	一一二	一一二	一一三	一二二	一二
料 金		三〇 四〇 五〇 以 上	二五 五〇 六〇 以 上	一〇〇 五〇 三〇〇	三〇 五〇 五〇 二〇〇	五〇 一〇〇 五〇〇
府 縣						

消炎手術	三	二	二	二
一〇〇 五〇 五〇 一〇〇 以上	五〇 五〇 五〇 一〇〇 以上	二二	二二	二二
一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 以上	五〇 五〇 五〇 一〇〇 以上	一一	一一	一一
四〇〇 一五〇 一〇〇 以上	五〇 五〇 五〇 一〇〇 以上	一一	一一	一一

第四部 救療事業概況

第四部 救療事業概況

一、はし が き

現在我が國に於ける救療事業は、國の事業としては救護法に依る醫療救護及昭和七年度以降臨時的に施設せられつゝある時局匡救醫療救護事業を一般的のものとし、其の他特殊的救療として精神病、結核、癩、トラホーム又は花柳病等に對し之が豫防を施すの必要よりして此等の豫防法に基き救療を爲す場合がある。尙軍人の一部及び其の家族等に對し軍事救護法に依り醫療保護を爲す場合があるが、特殊的のものであり且之が適用を受ける者極めて僅少である。又公私團體等に依り爲されつゝある救療事業としては、恩賜財團濟生會の事業が最大規模のものであり、其の他公設又は私設に係る診療所、施療院若は委託診療に従事する者等がある。依て本項に於ては、先づ全國に於て救療を必要とする者及之に對し救療を受けつゝある者の概數を観察し、次に救護法及時局匡救醫療救護施設に依る事業狀況を略記し且私的施設の代表的存在たる濟生會の事業を概説し、以て我が國救療事業の現況を概観せんとするものである。

二、救療を要する者

全國に亘り救療を必要とする者の數を正確に知ることとは甚だ困難な業であるが、次の衛生局調査に係る概數に依り其の大體を知ることが出来る。

要 救 療 者 調 (昭和十年三月三十一日現在) 内務省衛生局

道府縣別	總人口	第一種		第二種		其ノ他		計	
		人口	百分比	人口	百分比	人口	百分比	人口	百分比
北海道	二、八八六、五五三	二、〇三三、五八一	七〇・五%	一、三三三、一三三	四四・三%	一、四六六、五七一	五〇・八%	四、七三二、二二一	一六・三%
青森	九〇〇、七八〇	一一、〇九〇	一・三%	四三三、五〇七	四八・三%	二四、五六八	二・七%	七九、一六五	八・七%
岩手	一、一〇五、一三三	八、七九八	〇・八%	三三三、一〇四	二九・一%	一八、四〇九	一・六%	五九、三〇七	五・三%
宮城	一、一六〇、四六三	一一、五〇九	〇・九%	五八、四〇五	五・〇%	三、四六一	二・七%	一〇一、三七五	八・七%
秋田	九五一、五四六	一四、三七五	一・五%	四七、五七八	五・〇%	二七、八七八	二・九%	八九、八三一	九・四%
山形	一、一三三、一三八	一八、五二七	一・六%	五、二〇五	四・五%	三、三七七	二・八%	一〇一、〇九七	九・〇%
福島	一、五六九、四二七	一三、〇一〇	〇・八%	七八、五五四	五・〇%	四、二〇八	二・六%	一三三、七八二	八・四%
茨城	一、五〇七、六三二	二、八三七	〇・五%	五八、一四九	三・八%	二九、六九三	一・九%	九五、六七九	六・三%
栃木	一、一三三、四三六	二、九七三	〇・二%	二〇、七四四	一・八%	一〇、六七三	〇・九%	三四、三八八	三・〇%
群馬	一、二二九、四八八	五、九六六	〇・四%	三一、六三〇	二・五%	一六、九一八	一・三%	五四、五一四	四・三%
埼玉	一、二二九、四八八	三、〇〇〇	〇・二%	三一、六三〇	二・五%	一八、三〇一	一・五%	五八、九七五	四・八%
千葉	一、二二九、四八八	三、〇〇〇	〇・二%	三一、六三〇	二・五%	一八、三〇一	一・五%	五八、九七五	四・八%
東京	一、二二九、四八八	三、〇〇〇	〇・二%	三一、六三〇	二・五%	一八、三〇一	一・五%	五八、九七五	四・八%
神奈	一、二二九、四八八	三、〇〇〇	〇・二%	三一、六三〇	二・五%	一八、三〇一	一・五%	五八、九七五	四・八%
新潟	一、二二九、四八八	三、〇〇〇	〇・二%	三一、六三〇	二・五%	一八、三〇一	一・五%	五八、九七五	四・八%

道府縣別	總人口	第一種		第二種		其ノ他		計	
		人口	百分比	人口	百分比	人口	百分比	人口	百分比
富山	八六五、七六〇	一、四一七	〇・四%	二、五〇七	二・九%	一、三五一	一・五%	四、二七九	四・九%
石川	七九三、六三三	二、一一五	〇・二%	三、八一六	〇・四%	二、六六八	〇・三%	八、五九八	一・〇%
福井	六九三、一四三	一、七三三	〇・二%	九、四四八	一・四%	五、〇三〇	〇・七%	一六、二〇九	二・五%
山梨	六九三、一四三	八、九七九	一・二%	二、三三七	三・二%	一、四三三	二・〇%	四六、二七八	六・六%
長野	一、七五、一八三	九、六五四	〇・五%	三、〇三一	一・七%	一、七九七	一・〇%	五七、九八三	三・三%
岐阜	一、二七、一八三	四、六七五	〇・三%	五、〇六三	〇・四%	四、三八三	〇・三%	一四、一一〇	一・一%
静岡	一、二七、一八三	八、九七九	〇・五%	二、三三七	三・二%	一、四三三	二・〇%	四六、二七八	六・六%
愛知	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
三重	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
滋賀	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
京都	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
大阪	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
兵庫	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
奈良	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
和歌	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
鳥取	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
島根	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
岡山	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
広島	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
山梨	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
徳島	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%
香川	一、二七、一八三	一、一一一	〇・一%	四、九三〇	〇・六%	二、七二七	二・一%	八、七八五	七・四%

道府縣別	總人口	第一種		第二種		其ノ他		計	
		人口	百分比	人口	百分比	人口	百分比	人口	百分比
		人	%	人	%	人	%	人	%
愛媛	一、三三八、七三二	七、八四三	0.63%	三、八五九	2.65%	一八、三二五	1.48%	五九、〇二七	4.76%
高知	七三三、一八〇	五、一九三	0.71%	二六、九二三	3.66%	一四、四四七	1.96%	四六、五五三	6.33%
福岡	二、六四一、六六一	一五、〇六七	0.57%	一八七、〇四九	7.08%	九〇、九五三	3.44%	二九三、〇六八	11.09%
佐賀	六八〇、二二六	二、九三七	0.43%	一三、一三三	2.81%	九、九三一	1.46%	三三、〇〇〇	4.70%
長崎	一、三三三、六〇八	六、四七三	0.49%	四一、〇六一	3.08%	二一、三九八	1.60%	六八、九五一	5.17%
熊本	一、三三三、九六一	二、九〇七	0.33%	二四、九二四	1.84%	二二、五二四	0.92%	四〇、三五五	2.98%
大分	一、〇一一、五九三	三、三三五	0.33%	三一、三八二	3.10%	一五、五七七	1.54%	五〇、一九四	4.96%
宮崎	八四四、〇一五	二、六七九	0.33%	一〇、三四五	1.23%	五、八六〇	0.69%	一八、八八四	2.24%
鹿兒	一、五五六、六九〇	一三、五三七	0.87%	五八、〇九七	3.73%	三三、二四八	2.07%	一〇三、九一二	6.67%
沖縄	五九三、〇一三	二、八八七	0.49%	二四、五四四	4.14%	一一、三四三	2.08%	三九、七七四	6.71%
合	六七、七三三、九〇九	八四四、五五五	1.25%	二、〇六五、二九一	3.04%	一、二五二、五五五	1.85%	四、一六二、四〇一	6.15%

備考

- 一、第一種とは疾病其の他の事由に依り生活すること困難なるもの。
- 一、第二種とは辛うじて生活し得るも一朝事故に遭遇する場合は忽ち自活困難に陥る虞あるもの。
- 一、其の他とは生活に支障なきも餘裕なきもの。

右に對し上述の公私救療諸施設に依り實際受療したる者は左の如くである。

救療患者調

種別	人員	備考
救護法ニ依ル醫療救護	三〇、三二〇人	社會局調査(昭和十年度) 助産及埋葬ヲ含マズ
時局匡救醫療救護	七〇四、七九〇	衛生局調査(昭和十年度)
恩賜財團濟生會ノ事業	二七九、七八〇	濟生會救療患者統計ニ依ル(昭和十年度) 時局匡救醫療救護ニ依ルモノヲ含マズ
其ノ他公私救療機關ノ事業	六六〇、〇〇〇	昭和九年濟生會推計ニ依ル
合 計	一六七四、八九〇	

三、救護法實施狀況 (救療に關するもの)

(一) 救護法に依る救護に於ける救療の地位

救護法に依る救護の種類は生活扶助、醫療、助産、生業扶助及被救護者死亡の場合埋葬を行ふ者に對して爲すことを得る埋葬費の給付である。埋葬は嚴密には救護に非ず又助産は之を救療と稱すべきものでないが、こゝには醫療の外助産及埋葬をも救療に關するものとして、此の三者に付其の實施狀況を觀察することとした。

救護法に依る救護及び其の中救療の割合は左表の如くである。

救護法に依る被救護者調 (昭和十年度) 社會局調査

備考 一、「實人員」は救護件数を示す（次表に付同様）	救護種類	居宅			收容			計		
		實人員	金額	實人員	金額	實人員	割合	金額	割合	
生活扶助	一六九、八三四人	四、二五五、四五八円	一七、一五九人	九一四、三一一円	一八六、九九三人	八・八%	五、一六九、七六九円	八六・九%		
助産療	一八、七八四 (二〇四)	一九八、一九六	一一、五五六 (一〇、九〇一)	五、一三、一八一	三〇、三三〇 (一八、五五五)	一三・三%	七、一、三七七	一一・〇		
生業扶助	一、六七三 (一八六)	七、二四三	二、二 (一〇八)	一、〇二五	一、八九〇 (三九四)	・八	八、二六七	・一		
埋葬	五〇四 (八〇)	五、一三七	—	—	五〇四 (八〇)	・二	五、一三七	・一		
合計	一九〇、七九四 (八、三〇〇)	四、四六六、〇三三	二八、九一三 (一〇、七〇九)	一、四二八、五一七	三三八、六二〇 (一、九〇九)	一〇〇・〇	五、九四八、五六二	一〇〇・〇		

備考

一、「賃人員」は救護件数を示す（次表に付同様）

二、「賃人員」欄括弧内は同一人にして二種以上の救護を受けたる者を示す（同右）

(二) 医療、助産及埋葬状況

救護法に依る道府県別医療、助産及埋葬調 (昭和十年度) 社会局調査

道府県	医療			助産			埋葬		
	居宅	收容	計	居宅	收容	計	人員	金額	金額
北海道	賃人員 八四三人	金額 七、九三三	賃人員 五九七人	賃人員 一、四三九人	金額 二、一〇〇	賃人員 一、八七二	人員 一八人	金額 一、五二一	金額 二、五二一

東京	一、七、七九二	二、二、二〇三	二、二、二〇三	一、二〇、四四一	四、三三六	一、二〇、四四一	九七八	六、五六二	二、一、一七五
京都	一、三、三三三	一、二、七一一	一、二、七一一	三、三、九五四	一、〇、九	三、三、九五四	三〇六	二、一、一七五	二、一、一七五
大阪	一、二、四四六	三、八、八三四	三、八、八三四	一、一、九〇四	一、一、九〇四	一、一、九〇四	一、三、三九	二、一、一七五	二、一、一七五
神奈川	一、一、二二	六、六三三	六、六三三	五、九、三四四	一、九	五、九、三四四	三七三	二、一、一七五	二、一、一七五
兵庫	一、二、二〇	五、五九六	五、五九六	四、六	一、九	四、六	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
長崎	一、二、二〇	三、九二五	三、九二五	三、三、三三	一、九	三、三、三三	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
新潟	一、二、二〇	五、五九六	五、五九六	三、三、三三	一、九	三、三、三三	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
埼玉	一、二、二〇	一〇、九四一	一〇、九四一	一、六、二二四	一、九	一、六、二二四	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
群馬	一、二、二〇	七、七六	七、七六	六、二二六	一、九	六、二二六	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
千葉	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、九	一、二、二〇	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
茨城	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、九	一、二、二〇	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
栃木	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、九	一、二、二〇	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
奈良	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、九	一、二、二〇	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
三重	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、九	一、二、二〇	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五
愛知	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、二、二〇	一、九	一、二、二〇	一、七、四	二、一、一七五	二、一、一七五

道府縣	療				助				産				埋	
	居宅		收容		居宅		收容		計		實人員	金額	實人員	金額
	實人員	金額	實人員	金額	實人員	金額	實人員	金額	實人員	金額				
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額			金額	金額
石川	(二)九六	一、二二五	(一)一三	四、六八四	(一)一五	六、八九八	(一)一	一、一〇一	(一)一	一、一〇一	一三	一三	一三	五、六三
福井	(四)六五	〇、六〇	(三)三	二、二二	(一)一	一、一〇一	(一)一	一、一〇一	(一)一	一、一〇一	一〇	一〇	一〇	三、三
秋田	(一)一四	一、〇七	(一)一	六、八	(一)一	一、六八	(一)一	一、六八	(一)一	一、六八	一〇	一〇	一〇	五、九七
山形	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三
青森	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三
岩手	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三
福島	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三
宮城	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三
長野	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三
岐阜	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三
滋賀	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三
山梨	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三
静岡	(一)一三	一、五八	(一)一	三、三	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	(一)一	一、五八	一〇	一〇	一〇	四、六三

富山	(一)二	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
鳥取	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
島根	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
岡山	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
広島	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
山口	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
和歌山	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
徳島	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
香川	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
愛媛	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
高知	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
福岡	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
大分	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
佐賀	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八
熊本	(一)一	一、〇〇	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	(一)一	二、七三	一〇	一〇	一〇	三、八

道府縣	醫 宅		收 容		計 療		助 宅		收 容		計 産		埋 葬	
	實人員	金額	實人員	金額	實人員	金額	實人員	金額	實人員	金額	實人員	金額	實人員	金額
宮崎	(八) 四人	九四 円	(八) 四人	九四 円	(八) 四人	九四 円	(八) 四人	九四 円	(八) 四人	九四 円	(八) 四人	九四 円	(八) 四人	九四 円
鹿兒島	(七) 六人	五、三三	(七) 六人	五、三三	(七) 六人	五、三三	(七) 六人	五、三三	(七) 六人	五、三三	(七) 六人	五、三三	(七) 六人	五、三三
沖繩	(一三) 四人	二九六	(一三) 四人	二九六	(一三) 四人	二九六	(一三) 四人	二九六	(一三) 四人	二九六	(一三) 四人	二九六	(一三) 四人	二九六
計	(二、〇三三) 四人	一、八、一六六	(二、〇三三) 四人	一、八、一六六	(二、〇三三) 四人	一、八、一六六	(二、〇三三) 四人	一、八、一六六	(二、〇三三) 四人	一、八、一六六	(二、〇三三) 四人	一、八、一六六	(二、〇三三) 四人	一、八、一六六

救護法に依る被救護者種類別醫療、助産及埋葬人員調 (昭和十年度) 社會局調査

被救護者種類別	醫 療		助 産		埋 葬	
	實人員	割合	實人員	割合	實人員	割合
六十五歳以上ノ老衰者	三、八四五人	一二・七%			三、八四九人	四三・二%
十三歳以下ノ幼者	四、〇〇三	一三・二			七二六	八・一
妊 産 婦	五二	・二	一、八〇五	九五・五	一一	・一
不具癩疾者	五九〇	一・九	二	・一	二六六	三・〇
疾病傷痍者	一九、九八八	六五・九	二二	一・二	三、七四二	四二・〇

精神、癩弱者及身體虛弱者	一、七九一	五・九	二五	一・三	三〇四	三・四
幼兒 哺育ノ母	五一	・二	三六	一・九	一五	・二
計	三〇、三二〇	一〇〇・〇	一、八九〇	一〇〇・〇	八、九一三	一〇〇・〇

四、時局匡救醫療救護狀況

政府の行ふ救療事業中其の被救護人員及費用に於て時局匡救醫療救護事業が最大部分を占める。本事業は昭和七年度より三ヶ年計畫を以て實施せられたるものであるが、其の後逐年要救護者數の著増せると、本事業に代るべき施設なき爲之を卒然廢止するは其の影響する所至大なるに鑑み、昭和十年度以降も引續き實施されて居るのである。而して之が實施方法は道府縣に於て直接取扱ふものと濟生會を通じて行はしむるものとあり、委託診療、出張診療、巡回診療其の方法を以て行はれる。其の内容に於ては救護法に依る救療と實質上何等の差異がないのである。

時局匡救醫療救護取扱患者數調 (昭和十年度) 衛生局調査

種 別	道府縣ニテ直接取扱ヒタルモノ	濟生會ヲ通ジテ取扱ヒタルモノ	計
委託診療	一〇九、一〇一人	二二〇、二五二人	三二九、三五三人

種 別	出 張 診 察	巡 回 診 察	其 他	合 計	内 訳
	療 察	療 察	療 察	來 院	外 往 入
道府縣ニテ直接取扱ヒタルモノ	九七、五五六 _人	一三六、九〇〇	九、九一六	三五三、四七三	三二四、四九三
濟生會ヲ通ジテ取扱ヒタルモノ	三〇、七七三 _人	四〇、八〇一	五九、四九一	三五一、三一七	三二一、二〇六
計	一二八、三二九 _人	一七七、七〇一	六九、四〇七	七〇四、七九〇	六四五、六九九
					四二、九五九
					一六、一三二

年 齡	男	女	計
一歲 未滿	八、六五九人	七、八三七人	一六、四九六人
一歲以上五歲未滿	三六、八四〇	三四、一五四	七〇、九九四
五歲以上十歲未滿	三四、三二三	三二、〇六〇	六六、三八三
十歲以上十五歲未滿	三四、六〇六	三二、六四二	六七、二四八
十五歲以上二十歲未滿	二五、六〇六	二三、八八三	四九、四八九
二十歲以上三十歲未滿	四〇、二五〇	四一、四七六	八一、七二六
三十歲以上四十歲未滿	四三、四五五	五二、一二二	九五、五七七
四十歲以上五十歲未滿	四四、八〇一	四七、八四八	九二、六四九

五十歲以上六十歲未滿	六十歲以上	合計
四〇、九二九	三九、一八三	三三八、六五二
四二、三二〇	四一、七九六	三五六、一三八
八三、二四九	八〇、九七九	七〇四、七九〇

神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬	栃木	茨城	福島	山形	秋田	宮城	岩手	青森	北海道	道府縣
五、七四七	六六、〇九〇	三、八九一	三一、八〇四	二九、四二二	一三、八八六	二〇、一一三	五〇、〇二七	二九、三四八	九、四三六	九、九二一	一八、七二二	一一、九八二	二二、三八五	患者數
一二七、六五五	五八〇、一七七	一九八、九八九	四〇一、四三五	一八三、四三八	九二、一六〇	二三〇、〇九〇	四九九、三一一	一九〇、八七五	一三二、八七四	一九三、八八九	二七七、三四五	八九、二八二	二八九、七五一	治療日數
兵大京滋三愛靜岐長山福石富新	庫阪都賀重知岡阜野梨井川山潟													道府縣
二三、五八四	一四、九二五	一〇、七二一	五、五六九	一五、〇六一	七八、〇九九	五、七三八	一九、九八一	二九、二三二	五、〇二六	三、三二二	五、〇二五	一一、七四三	一三、七八四	患者數
二七五、七〇五	四〇九、七六六	一〇〇、七三八	四九、七三二	二五二、〇一〇	六一八、三八三	九九、六八九	一三八、二八六	四二六、九五七	六七、一六五	三八、一一〇	八二、四九一	一〇九、一二一	二二六、八五二	治療日數

道府縣		患者數		治療日數	
愛	香	德	山	廣	岡
媛	川	島	口	島	山
三、一六	二、二九四	三、四七八	五、一八〇	一五、〇〇六	一二、〇九七
九三、三五一	六五、三九一	一〇八、二四一	一五二、三八七	二二四、七一三	一〇三、五〇九
合	沖	鹿	宮	大	熊
計	繩	島	崎	分	本
七〇四、七九〇	一七、五二八	一三、四七九	五、八六七	一一、一七二	五、八〇八
八、七六四、一五四	六五、八一六	一八七、六〇九	七二、〇五六	一七九、七六五	二一三、一九五
道	府	縣	知	賀	岡
高	福	佐	長	熊	大
五七、五二二	八四、九〇七	八六、九五五	八一、〇〇四	一〇三、五〇九	二二四、七一三
五、八五八	一〇、二六四	二、六七一	六、七六六	五、八〇八	一一、一七二
九〇、一八九	三五九、五七三	四七、七二〇	一〇八、〇七五	二一三、一九五	一七九、七六五
道	府	縣	知	賀	岡
高	福	佐	長	熊	大
五七、五二二	八四、九〇七	八六、九五五	八一、〇〇四	一〇三、五〇九	二二四、七一三
五、八五八	一〇、二六四	二、六七一	六、七六六	五、八〇八	一一、一七二
九〇、一八九	三五九、五七三	四七、七二〇	一〇八、〇七五	二一三、一九五	一七九、七六五

五、濟生會救療事業概況

明治四十四年御内帑金を仰ぎて設立せられたる恩賜財團濟生會は全國に亘り施藥救療の事業を遂行せんとするもので、其の規模に於て獨り私設救療事業の泰斗たるのみならず、之が恩恵に浴する患者數に於ても救護法に依る救療の遙かに及ばざる所である。之が實施方法は、東京市(舊市域)に於けるものは濟生會之を直營し、其の他の道府縣に於けるものは勅令に基き内務大臣に委嘱せられ、地方長官之を行ふ。但し濟生會が特定の地方に特設機關を置きて施療に従事せるものもある。濟生會及地方長官は病院、結核療養所、診療所、

診療班等を設け又は公私立病院、開業醫師、藥劑師、産婆等に委託して適宜診療を行ふのである。内務省の行ふ時局匡救醫療救護も其の一部を濟生會を通じて道府縣に亘り行はしむるものであるが、左記諸表中には此の分は含まない。又實費を以て受療せる患者に付ても之を除外したること勿論である。

道府縣別濟生會救療患者數調 (昭和十年度)

道府縣		實人		員	
道	府	入	院	計	入
北	海	一六、九一三	三〇五	一七二一八	四五〇、六一三
青	森	九一六	六	九二二	三、五七一
岩	手	九六	九	一〇五	一、三三二
宮	城	二、三七九	一三三	二、五一二	六一、九一〇
秋	田	三五〇	八一	四三一	四、七七二
山	形	八〇九	八	八一七	五、六七七
福	島	一一七	二九	一四六	一、六〇一
茨	城	九六五	二三	九八八	五、二八六
栃	木	一七一	一九	一九〇	二、六三一
群	馬	一、二一七	一二	一、二二九	一〇、一二三
埼	玉	二、五二一	八五	二、六〇六	三四、一二六
千	葉	一五五	一〇九	二六四	七、六〇一
		入	院	計	入
		一六、九一三	三〇五	一七二一八	四五〇、六一三
		九一六	六	九二二	三、五七一
		九六	九	一〇五	一、三三二
		二、三七九	一三三	二、五一二	六一、九一〇
		三五〇	八一	四三一	四、七七二
		八〇九	八	八一七	五、六七七
		一一七	二九	一四六	一、六〇一
		九六五	二三	九八八	五、二八六
		一七一	一九	一九〇	二、六三一
		一、二一七	一二	一、二二九	一〇、一二三
		二、五二一	八五	二、六〇六	三四、一二六
		一五五	一〇九	二六四	七、六〇一
		入	院	計	入
		一六、九一三	三〇五	一七二一八	四五〇、七三五
		九一六	六	九二二	三、七一九
		九六	九	一〇五	一、五一五
		二、三七九	一三三	二、五一二	七二、四一八
		三五〇	八一	四三一	七、八八七
		八〇九	八	八一七	五、九四七
		一一七	二九	一四六	四、八三二
		九六五	二三	九八八	五、六三一
		一七一	一九	一九〇	三、一五六
		一、二一七	一二	一、二二九	一二、〇二二
		二、五二一	八五	二、六〇六	三五、九四六
		一五五	一〇九	二六四	一二、〇二一

道府縣	入 院 外	入 院	計	入 院 外	入 院	計
東 京	六六、四六七	四、六三〇	七一、〇九七	二、五七三	一一、〇八六	一三、六四九
神 奈 川	三九、八五二	七六二	三九、八五二	一、一二四	二二、〇一九	一、一二四、一七二
新 潟	一三、一二六	四八	一三、八八八	四五四、三〇八	九三一	四七五、三二七
富 山	二、三七一	一六〇	二、四一九	四六、二五〇	五、六六四	四七、一八一
石 川	四、〇〇三	三	四、一六三	一一一、五六一	一三〇	一一七、二二五
福 井	四九七	四一	五〇〇	一〇、九八一	一、六四五	一一、一五一
山 梨	九九九	二九	一、〇四〇	一三、七八六	六九六	一五、四三一
長 野	一四七	一八	一七六	三、七六二	四三三	四、四五八
岐 阜	七八	四一	九六	二、三三四	九三二	二、七六七
静 岡	三五三	五三	三九四	六、二九五	八四九	七、二二七
愛 知	二、二四三	四一六	二、九六六	四二、一五二	一一、二〇七	四三、〇〇一
三 重	二、五二九	四〇	二、九四五	三五、八二八	一、七二二	四八、〇三五
滋 賀	一、二四五	一〇六	一、三五一	二五、五八七	四、八六二	二七、三〇九
京 都	四、七二三	三一四	五、〇三七	一七〇、〇九九	一五、三五一	一八五、四五〇
大 阪	五九、七二七	一、八三六	六一、五六三	二、〇六一、九〇五	四六、一三二	二、一〇八、〇三七
兵 庫	一二、四六一	六二一	一三、〇八二	三二一、二二八	一六、九一二	三三八、一四〇
奈 良	四五八	一一	四六九	八、五三五	二五一	八、七八六

道府縣	入 院 外	入 院	計	入 院 外	入 院	計
和 歌 山	二八六	六	二九二	一二、三二九	二四八	一二、五七七
鳥 取	二八七	一一	二九八	三、二七九	一五九	三、四三八
島 根	一一一	九	一二〇	一、六五一	三八九	二、〇四〇
鳥 山	一一〇七	三六	一二四三	一四、五六九	一、二九六	一五、八六五
廣 島	二、二〇四	一五三	二、三五七	八七、〇二八	四、三五二	九一、三八〇
山 口	一、九九九	二四	二、〇二三	八四、七六一	四九一	八五、二五二
徳 島	一三八	三八	一七六	三、三一七	九〇六	四、二二三
香 川	一六四	五	一六九	四、一八〇	一、一三八	五、三一八
愛 媛	七〇	一四	八四	一、五五一	三〇九	一、八六〇
高 知	一、三五六	五〇二	一、八五八	五八、二一七	三一、九七二	九〇、一八九
福 岡	一四、四七七	三一一	一四、七八八	五四五、三〇八	一四、八七六	五六〇、一八四
佐 賀	五三二	三二	五六四	一二、八七六	一、〇三七	一三、九一三
長 崎	一、三八二	二五	一、四〇七	五四、八六八	一、二二四	五六、〇九二
熊 本	六三七	九五	七三二	一五、四五六	四、九一九	二〇、三七五
大 分	一七八	七九	二五七	三、五九八	二、九四九	六、五四七
宮 崎	五七二	三五	六〇七	六、九八六	一、〇六八	八、〇五四
鹿 児 島	二、〇七四	一七	二、〇九一	六九、二五六	四四七	六九、七〇三
沖 縄	一、三一〇	三二三	一、六三三	八、三九五	四、八〇二	一三、一九七
計	二六八、一一六	一一、六六四	二七九、七八〇	八、六一九、四五九	三五九、九九〇	八、九七九、四四九

備考 本表中北海道、千葉縣、福井縣の分は昭和九年度分である。

備考 本表は全患者に付調査したるものに非ず

濟生會救療患者職業別 (昭和九年度) 濟生會救療患者統計

備考 本表は全患者に付調査したるものに非ず

附錄

附 錄

我國の人口増加率

年次	人口	各 前 回 調 査 = 比 シ 増 加			
		五年間増加數	一年平均増加數	五年間増加割合	幾何平均増加率
昭和十一年	六九、二五四、一四七	四、八〇四、一四三	九六〇、八二八	七・四%	一・四四七%
昭和十五年	六四、四五〇、〇〇五	四、七二三、一八三	九四二、六三七	七・九	一・五三〇
大正十四年	五九、七三六、八二三	三、七七三、七五九	七五四、七五四	六・七	一・三一四
大正九年	五五、九六三、〇五三	—	—	—	—

備考 國勢調査の結果に依る。

諸外國に於ける人口増加率

國 名	年 次	最近調査人口	前回調査人口	幾何平均増加率
日本(内地)	一九三五年及一九三〇年	六九、二五四、一四二	六四、四五〇、〇〇五	一・四四七%
英 吉 利	一九三一年及一九二一年	四四、七九五、三五七	四二、七六九、一九六	一・四六四
北 國 合 衆 國	一九三〇年及一九二〇年	一二二、七七五、〇四六	一〇五、七一〇、六二〇	一・四七一
獨 逸	一九三三年及一九二五年	六五、二一八、四六一	六二、四一〇、六一九	一・五五二
佛 蘭 西	一九三一年及一九二六年	四一、八三四、九二三	四〇、七四三、八九七	一・五三〇
伊 太 利	一九三一年及一九二一年	四一、一七六、六七一	三七、九八八、〇〇〇	一・八六七

備考 一、英吉利は大ブリテンを指し、獨逸はザール地方を含まない。
二、昭和十年國勢調査速報に依る。

市町村別人口

(イ) 調査當時の市域に依るもの

年次	市数	人口		市部	郡部	人口		市部	郡部	人口		市部	郡部
		市	郡			市	郡			市	郡		
昭和十年	一二七	二二、五八九、一一二	四六、六六五、〇三五	三二七	六七三	三二七	六七三	三二七	六七三	三二七	六七三	三二七	六七三
昭和五年	一〇九	一五、四四四、三〇〇	四九、〇〇五、七〇五	二四〇	七六〇	二四〇	七六〇	二四〇	七六〇	二四〇	七六〇	二四〇	七六〇
大正十四年	一〇一	一二、八九六、八五〇	四六、八三九、九七二	二一六	七八四	二一六	七八四	二一六	七八四	二一六	七八四	二一六	七八四
大正九年	八三	一〇、〇九六、七五八	四五、八六六、二九五	一八〇	八二〇	一八〇	八二〇	一八〇	八二〇	一八〇	八二〇	一八〇	八二〇

備考 國勢調査の結果に依る。

(ロ) 昭和十年十月一日に於ける市域に依るもの

年次	市部	郡部	人口		市部	郡部	人口		市部	郡部	人口		市部	郡部	各前回調査ニ比シ増加割合
			市	郡			市	郡			市	郡			
昭和十年	三、五九、一二三	四六、六六五、〇三五	三三七	六七三	三三七	六七三	三三七	六七三	三三七	六七三	三三七	六七三	三三七	六七三	一五・〇%
昭和五年	一九、六三六、七五二	四四、八三三、二五四	三〇五	六九五	三〇五	六九五	三〇五	六九五	三〇五	六九五	三〇五	六九五	三〇五	六九五	一六・〇%
大正十四年	一六、九三二、二六六	四二、八〇五、六九六	二八三	七二七	二八三	七二七	二八三	七二七	二八三	七二七	二八三	七二七	二八三	七二七	一七・六%
大正九年	一四、三九五、六六九	四一、五五七、三八四	二五七	七四三	二五七	七四三	二五七	七四三	二五七	七四三	二五七	七四三	二五七	七四三	三・〇%

諸國の大都市人口

國名	年次	大都市人口	總人口千中
日本(内地)	一九三五年	三、四	二五三
英吉利	一九三一年	五五	四五五
北米合衆國	一九三〇年	九三	二九六
獨逸	一九三三年	五二	三〇四
佛蘭西	一九三一年	一七	一五七
伊太利	一九三一年	二二	一七四

備考 昭和十年國勢調査速報に依る。

有業率

種別	實數	計	千分率	
			男	女
有業者	一、三、〇三〇、三三七	二九、六九、六四〇	五八四	三三〇
無業者	一三、三九、九八八	三四、八三〇、三六五	四一六	六七〇
計	三、三、三三〇、一五五	六四、五二〇、〇〇五	一、〇〇〇	一、〇〇〇

備考 昭和五年國勢調査の結果に依る。

有業者の職業別

種 別	實 數		千 分 率	
	男	女	男	女
	計	計	均	均
農 業	7,734,045	6,324,021	20.4	17.7
水 産	501,042	455,546	1.4	1.3
鑛 業	110,142	81,024	0.3	0.2
工 業	4,242,151	1,510,510	11.8	4.1
商 業	3,013,903	1,510,510	8.4	4.1
交 通	1,013,545	1,444,195	2.8	4.0
公 務	1,013,545	78,949	2.8	0.2
家 事	1,641,803	351,348	4.5	1.0
其 ノ 他 ノ 有 業 者	84,110	69,114	0.2	0.2
計	13,010,134	10,549,403	36.6	30.0

備考 昭和五年國勢調査の結果に依る。

有業者の地位別

種 別	實 數		千 分 率	
	雇 主	獨 自 使用人	雇 主	獨 自 使用人
	計	計	均	均
農 業	2,774,144	3,949,897	7.6	10.9
水 産	115,210	314,324	0.3	0.8
鑛 業	5,240	11,110	0.0	0.0
計	2,889,594	4,275,331	7.9	11.7

種 別	實 數		千 分 率	
	雇 主	獨 自 使用人	雇 主	獨 自 使用人
	計	計	均	均
農 業	6,864,644	9,752,256	18.8	26.8
水 産	953,056	1,142,486	2.6	3.1
鑛 業	60,958	131,348	0.2	0.3
工 業	48,938	1,279,764	0.1	3.4
商 業	—	781,319	—	2.1
交 通	2,883	536,365	0.0	1.4
公 務	—	31,719	—	0.1
家 事	2,883	536,365	0.0	1.4
其 ノ 他 ノ 有 業 者	61,494,944	10,043,841	16.6	27.0
計	61,494,944	10,043,841	16.6	27.0

備考 昭和五年國勢調査の結果に依る。

有業者の産業別

種 別	實 數		千 分 率	
	男	女	男	女
	計	計	均	均
農 業	7,734,045	6,324,021	20.4	17.7
水 産	501,042	455,546	1.4	1.3
鑛 業	110,142	81,024	0.3	0.2
工 業	4,242,151	1,510,510	11.8	4.1
商 業	3,013,903	1,510,510	8.4	4.1
交 通	1,013,545	1,444,195	2.8	4.0
公 務	1,013,545	78,949	2.8	0.2
家 事	1,641,803	351,348	4.5	1.0
其 ノ 他 ノ 有 業 者	84,110	69,114	0.2	0.2
計	13,010,134	10,549,403	36.6	30.0

備考 昭和五年國勢調査の結果に依る。

世帯人員別普通世帯數及人口

種別	世帯數		人口		世帯數		人口	
	世帯數	人口	世帯數	人口	世帯數	人口	世帯數	人口
一人世帯	六九四、〇六三	六九四、〇六三	五五	一一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二人世帯	一、四八〇、七七三	二、九六一、五四六	一一八	四七	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三人世帯	一、八七〇、一一五	五、六一〇、三四五	一四九	八九	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
四人世帯	一、九〇五、四八九	七、六二一、九五六	一五一	一二一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
五人世帯	一、八二六、三六七	九、一三一、八三五	一二七	一五三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
六人世帯	一、五九六、五三六	九、五七九、二一六	一四七	一五三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
七人世帯	一、二四三、三四三	八、七〇三、四〇一	九七	一三九	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
八人世帯	八五一、六一七	六、八一二、九三六	六八	一〇九	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
九人世帯	五一六、三一一	四、六四六、七九九	四一	七四	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
十人以上ノ世帯計	六一五、六六二	六、九九八、七二四	四九	一二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計	一二、六〇〇、二七六	六二、七六〇、八二一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

備考 一、本表の人口と昭和五年國勢調査人口と符合せざるは本表には普通世帯外にありたる人口一、六八九、一八四人を含まざるに依る。

二、昭和五年國勢調査の結果に依る。

産業別普通世帯數及人口

種別	世帯數		人口		世帯數		人口	
	世帯數	人口	世帯數	人口	世帯數	人口	世帯數	人口
農業	四、七四三、五一九	二七、一八六、四四八	四〇七	四五〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
水産	二五七、〇八二	一、三九四、六二三	二二	二三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
工業	一六八、五八二	七九七、八四八	一四	一三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
商業	二、二九七、六三九	一一、一九九、九八四	一九七	一八六	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
交通業	二、〇九六、四五二	一〇、四四三、二一四	一八〇	一七三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
公務	五〇七、五三〇	二、三二五、二三〇	四四	三九	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
家事	八八五、四五八	四、一六〇、三七七	七六	六九	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
其他ノ産業	四、五、九九六	一八三、〇二四	四	三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計	三、四、七一〇	一四七、九七〇	三	二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
無事ノ産業	六、一八、二三八	二、五二六、九八七	五三	四二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計	一一、六五五、二〇六	六〇、三六五、七〇五	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

備考 一、本表は世帯主不在の世帯及一時宿泊者を除き尚ほ二人以上の世帯員ある世帯に付作成せるものである。

二、昭和五年國勢調査の結果に依る。

年齢階級別人口數 (昭和五年十月一日現在)

年齢階級別	男	女	計	千分率	年齢階級別	男	女	計	千分率
〇—四歳	四、五四三、四三三	四、四六七、六九三	九、〇一一、一三五	一三九、八	五—九歳	三、九一四、七八九	三、八五三、一九九	七、七六七、〇八五	一一五、一一九

人口階級別	市町村數	人口	千分率	人口階級別	市町村數	人口	千分率
500 以下 人	70	21,766	4	10,001 以上 人	93	2,105,384	34.2
500 — 1,000	259	208,319	3.3	10,001 — 50,000	37	1,261,436	19.6
1,001 — 2,000	2,091	33,355,299	51.8	50,001 — 100,000	28	1,331,844	19.0
2,001 — 5,000	6,886	33,130,157	53.3	100,001 — 500,000	66	4,539,651	70.4
5,001 — 10,000	1,878	33,473,033	193.5	500,001 — 1,000,000	31	1,344,053	17.6
10,001 — 20,000	426	5,718,074	88.7	計	11,865	64,450,005	1000.0

[illegible]

道府縣別	市町村數				人口			
	市	町	村	計	市	町	村	計
	市	町	村	計	市	町	村	計
山梨	一	三	二二	二六	八二、六六八	七六、五八七	四八七、四七六	六四六、七二七
長野	三	一〇	三三	四六	一八六、〇五八	二七三、〇五四	一、二五五、八八八	一、七二四、〇〇〇
岐阜	二	五	二八	三五	一七七、九四四	三五二、二二九	六九五、五六六	一、一三五、七九七
靜岡	四	八	二二	三六	四四五、〇三三	四九四、八八三	九九九、九四五	一、九三九、八六〇
愛知	五	一	一五	二一	一、三二四、四八〇	八四一、三七〇	六九六、八五一	二、八六二、七〇一
滋賀	一	一	二〇	二二	二二、五九七	二四一、四〇九	七二〇、五八九	一、一七四、五九五
京都	一	一	一七	一九	七一、〇六三	一四八、〇八八	四九二、二八五	七一一、四三六
大阪	一	一	一〇	二二	一、〇二〇、五九三	二〇五、八七一	四一六、〇四四	一、七〇一、五五八
兵庫	一	一	一八	二〇	三、一七〇、二五七	四四〇、〇六三	六八六、八五五	四、二九七、一七四
奈良	一	一	一三	一五	一、一〇七、一七九	五〇〇、九二二	一、二二五、一五八	二、九三三、二四九
和歌山	一	一	一三	一五	五五、九六八	一八九、〇三三	三七五、四六九	六三〇、四七一
鳥取	一	一	一八	二〇	二四一、七〇四	一八九、五九六	四三三、七八七	八六四、〇八七
島根	一	一	一五	一七	八、九七〇	一、九四三	三二六、五四九	四九〇、四六一
岡山	一	一	二二	二四	三三、〇三三	一三七、六六六	五五七、四七〇	七四七、一八九
広島	一	一	二二	二四	三三、九三三	三四八、六六六	七四七、〇七九	一、三三三、六八二
山梨	一	一	二二	二四	三三、〇四四	三三、四七一	八五九、八〇一	一、八〇四、九六六
徳島	一	一	二二	二四	二七六、七六九	三〇七、八八七	六〇五、九五六	一、一九〇、五五三
香川	一	一	二二	二四	九七、〇二二	三三八、三三四	三九三、四〇三	七二八、七四八
愛媛	一	一	二二	二四	一六、四四五	一六〇、四八三	四七一、七一八	七四八、六五六
高松	一	一	二二	二四	二五、三三三	二七、六八九	七三二、八八七	一、一四四、八八九

高松	一	二八	一六一	一六〇	一〇三、四〇五	一六二、八三七	四四八、七三八	七一四、九八〇
福岡	一〇	四九	二五一	三二〇	一、一五三、三九九	五二一、三五三	一、〇九一、〇五三	二、七五五、八〇四
佐賀	二	一五	一〇八	一二五	八、一二三	一一八、六二五	四八六、二八〇	六八六、一七七
熊本	二	二七	一五六	一八五	三八四、九八五	二六七、八五五	六四四、〇四三	一、二九六、八八三
大分	一	四三	三〇三	三四六	一八七、三八二	二九七、四四五	九〇二、二五七	一、三九七、〇五四
宮崎	三	二〇	二二	二四六	一五四、四〇五	二二六、〇二二	五八九、九七一	九八〇、四三八
鹿児島	一	二〇	七三	九三	一五七、七三三	二〇五、七二二	四六〇、九八一	八三四、四三一
鹿兒島	二	一〇	一〇一	一四〇	一八一、七三六	六三〇、七九六	七八八、九三四	一、五九一、四六六
沖縄	二	四	五三	五八	八四、五二三	六三、四一〇	四四五、五七一	五九二、四九四
計	一七	一七	九七〇	一、五五六	三三、五八九、一一三	一三、九八一、〇七四	三三、六七三、九六三	六九、二五四、一四八

備考

- 一、北海道の村の内には三郡二、八八一人を含む。
- 二、東京府の村の内には一〇島一、七三一人を含む。
- 三、沖縄縣の村の内には二島六、五九二人を含む

道府縣別世帯數及人口 (昭和十年十月一日現在)

道府縣別	世帯	人口			一平方 人付		男女百 二		自昭和五年 至昭和十年		自大正十四年 至昭和十五年		自大正十九年 至大正二十年	
		男	女	計	男	女	人員	割合	人員	割合	人員	割合		
北海道	五四五、三九〇 一六一、八三三 一七五、一一三 二〇〇、三〇九	一、五九三、八四五 四八四、二七七 五一九、四八五 六三三、九七三	一、四七四、四三七 四八二、八五三 一、〇四六、一一一 一、二三四、八〇一	三五人 一〇〇 六九 一七〇	一〇八、一〇〇 一〇〇、三〇〇 九八、六四四 一〇一、八二三	二五五、九四七 八七、二五 七〇、三四〇 九二、〇一七	九二% 九二 九二 九二	三二、六五六 六六、九三七 七四、七八七 九八、七四八	一三六、四九六 八三、五三三 八三、五三三 九五	一三九、四九六 五六、五三三 五五、四四四 八二、二六八	五九% 七五 六六 八六			